

# 『看護研究第2回目』研修会実施報告

日時 : 平成30年6月9日(土)

対象者 : 卒後4年スタッフ12名 アドバイザー3名

参加者数 : 15名

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## <講師の紹介>

畿央大学 健康科学部 理学療法学科

教授 福森 貢 先生

1983年 近畿大学理工学部卒業

日本制御機器株式会社でハード・ソフトウェアの設計・開発

1999年 京都市立福知山市民病院附属

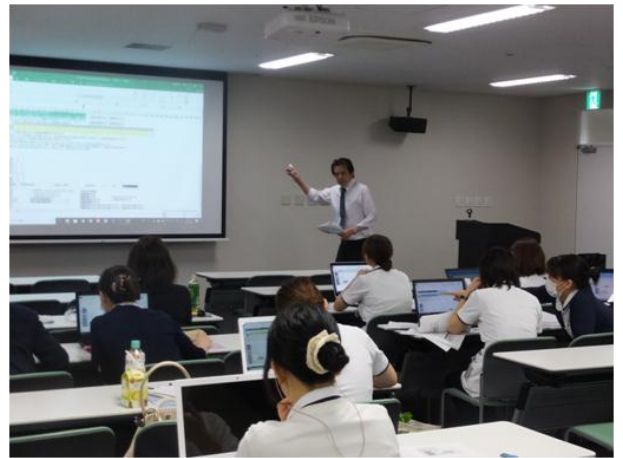
看護専門学校 非常勤講師

国立病院機構舞鶴医療センター附属

京都看護助産師専門学校 非常勤講師

2005年 畿央大学 専門:プログラミング・統計学・情報学

当院では2010年より看護研究講師としてもご指導頂いています。



## <内容>



統計の基礎知識や仮説検定による統計処理の方法についてわかりやすく講義していただきました。講義では福森先生が独自に作成された統計処理ソフトを使用させて頂きながら、仮説検定の意味や活用方法を学び、例題で検定の体験を通して学びを深めることができました。講義のまとめとして演習問題を行い、適切な検定法を選び統計処理をすることができていました。最後は研究グループごとに、研究内容に適した統計処理の方法を相談する時間もありました。まだ具体的な分析方法の検討まで至っていないグループもありましたが、今回の研修で学んだことを活かして頑張ってください。